

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 令和元年度第4回会議
開催日時	令和2年2月27日（木）午後1時30分から3時30分
開催場所	西原総合教育施設2階 第4会議室
出席者	委員：鈴木委員、漆原委員、多々良委員、近辻委員、都築委員、廣瀬委員 事務局：田中係長、亀田主事、齊藤主事、沼上文化財保護専門員
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 史跡下野谷遺跡整備について (2) 天神社総合調査について (3) 文化財の保存と管理について 3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 ・その他の文化財事業等 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料1 史跡下野谷遺跡整備について 資料2 天神社総合調査について 資料3 指定文化財の保存と管理について 資料4 下野谷遺跡の保存・活用について 資料5 埋蔵文化財調査一覧 資料6 文化財事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
1 開会 ○鈴木会長：ただいまより令和元年度第4回定例会を始める。 ○事務局：配布資料・出欠の確認。前回会議録について訂正等ある場合は3月9日までに連絡願いたい。	

2 協議事項

(1) 史跡下野谷遺跡整備について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料1に沿って説明）

史跡下野谷遺跡の整備について、現状や今後の予定について説明。
1月30日に第1回下野谷遺跡整備指導委員会を開催した。
基本設計の整備イメージ図について、園路は階段からの1本のみとした。
東側と西側に雨天時貯留池となる凹地を作る。
トイレは現在誰でもトイレ1つのみだが、エントランスゾーンに場所を移し、男女別のトイレも新たに設置する。エントランスには屋根を設置し、市民から意見のあった日陰を作る。4枚の解説板を設置し、1つは随時更新できるようにする。地形模型は令和3年度に施工する。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 廣瀬委員：駐車場は作らないのか。1、2台でもいいので近くに車を止められるといい。
- 事務局：原則として史跡地内の駐車場は目的外使用となる。そのため多目的広場とし、必要な際には駐車ができるようにする。
- 廣瀬委員：駐車場があれば行きやすくなると思った。
- 近辻委員：トイレの広さは今の大きさと比べてどうか。
- 事務局：男女別トイレも設置するので、3倍以上の大きさになる。
- 鈴木会長：整備地にはいつでも誰でも入れるのか。
- 事務局：入れる。ただ、トイレについてはいつでも使えるようにするのか検討が必要である。
- 鈴木会長：地形模型は野ざらしでよいのか。
- 事務局：屋根の設置は考えていない。
- 鈴木会長：入り口を明確にした方がよいのではないか。どこからでも入れるのは困るのではないか。
- 事務局：周りに柵があるので出入口の位置は決まってくる。生活道路として使われているので全てを閉めることはない。ただ、復元住居だけフェンスで囲うかなどは、来年度の下野谷遺跡整備指導委員会での調整になる。
- 近辻委員：復元住居の位置は縄文時代に住居があったところなのか。
- 事務局：発掘調査をして住居の検出された上に盛土をして建てる。
- 近辻委員：竪穴住居の中に入ることは可能か。
- 事務局：検討中である。火災の心配がある。良いご意見はないか。市民意見では中に入れるものが望まれている。環状集落ということがわかるように、複数住居を作ったほうが良いという意見もある。
- 近辻委員：土坑があることがわかるか。
- 事務局：植栽で土坑群の位置や分布を示すことを検討中。土坑のうち1つぐらいは、中の状況がわかるようなものを作れないかも検討している。
- 近辻委員：排水について、浸透柵と造成で対応するのか。
- 事務局：現在公園の部分については、すでに公園にある浸透柵を使う。東西の広場部分については、掘削できないので、60mm/時間の雨水を貯めるスペースとしてなだらかな凹地を作る。この場所は高台のため、浸水対策というより、周りに土砂が流れないようにすることが重要である。

- 鈴木会長：ベンチを入口だけではなく、全体的に設置できないか。ベンチのところに説明板の模型を設置するのはどうか。
- 事務局：通路より西のエリアは、復元ゾーンであるため縄文景観を壊さないような切り株のベンチなら設置できるのではないか。説明版は恒久的なものほかに、常に変化する史跡のコンセプトにあわせ、例えば、小学生が学んだことを説明板にして、随時設置したり変更したりすることも計画している。
- 鈴木会長：縄文時代には、集落の入口に何かあったりしなかったのか。
- 都築委員：ないと思う。はっきりしない。
復元住居の屋根をどうするかというのが1番問題である。全国的にみると土葺、草葺等の住居が見つかるが、土葺きの住居は今まで東北や北陸ではあるが、南関東では見つからない。管理のことを考えると、茅葺にすると、火災のおそれがあるためオープンにはできない。フェンスをつけて鍵をつけるのも、景観が損なわれる。土葺は、湿度が高くなってしまっているので、安全上の問題は別として手がかかり、管理が難しい。それ以外に、市民と一緒に時間をかけて復元する住居や、発掘された住居の掘りあげた状況を示すものも計画している。
- 鈴木会長：途中の経過を残すのも面白い。茅葺は防火対策を整えないといけない。
- 都築委員：練馬区でも奈良時代の茅葺の復元住居がある。管理棟が近くにあり、住居の周りをフェンスで囲い、見学者のいるときに開ける。実際に住居の柱のあった場所に柱を建てている。そういう管理の仕方だったら安全である。
- 廣瀬委員：監視カメラを付けないのか。
- 事務局：トイレに付けることは決定しているが、敷地内にはどのようにするかは検討する。
- 廣瀬委員：茅葺にするならそこにも必要になってくる。
- 事務局：他の自治体の話を聞くと、カメラとスプリンクラーも付けているが、火のまわりが早く間に合わないとのことだった。
- 鈴木会長：全面茅葺にせず、外側のみ茅葺にし、中は耐火にするのはどうか。
- 事務局：それも1つの方法だと思っている。土葺きの住居は保存が維持が困難でもある。

(2) 天神社総合調査について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料2に沿って説明)
12月24日に天神社総合調査会議を開催し、前回の文審で課題と今後の方向性を確認した。その後は特に変更もなく、今回は協議というよりも報告になる。
12月9日に2つの追加調査を行った。
 - ①鏝絵の3D写真撮影・計測
 - ②鎮守の森の調査。元々のものはそんなに残っていない。特に社務所のある西側は最近の植生に変わっている。北側にクヌギやシラカシがあるが、この辺りが昔の植生のものだと思われる。
今後必要な調査としては、石造物の写真、絵馬や額のリストアップがある。こちらに関しては、現在みどり公園課で下保谷の屋敷林の調査をして

おり、そちらでも地域の文化財として天神社を取り上げているので、そちらとも協力して今年度中に進めたい。

村田朝雄氏資料の調査は、図書館が休館中のためできていない。

天神社総合調査報告書（案）については、前回からの変更部分を網掛けにしているのので、資料を確認してほしい。

天神社をめぐるストーリーを文章化した。前回、誰に向けての報告書なのかとご意見があり、学術的にも深めたいが、一般の方にも手に取っていただけてわかりやすいものを、と説明した。天神社をめぐるストーリーは、その一番の要になる部分であり、一般の方が興味をもつような観点も含めて追加したいことなどご意見をいただきたい。

来年度夏から秋ぐらいには形をまとめて、年度内で確認したい。

○鈴木会長：鎮守の森の概念をもう少し踏み込んで書いたほうが良い。

○都築委員：水田は練馬区側では白子川流域でも石神井川流域でも見つからない。弥生時代に水田耕作は限られた場所で行われていないので、水田耕作はあまり入れない方がいいと思う。下保谷地域では、旧石器や縄文時代の遺跡が見つかったので入れた方がいい。弥生や古墳の遺跡は白子川の大泉辺り、中世の遺跡は今の外環道路周辺からしか見つからない。

○近辻委員：文章が短いと思う。

○事務局：長すぎても良くないのではないかと考えている。これだと歴史を書いているだけになっているので、もう少しストーリーが欲しい。

○都築委員：もう少し長くてもいいと思う。

○鈴木会長：資料に明治の地図があるが、元禄の地図もあったと思う。

○近辻委員：地図には人名が入っている。元禄の地図と明治の地図で、同じ人の名前がほとんどない。元禄の図の原本はサイズが大きいので使いにくいですが資料として使いやすいような形にできればいい方がよい。

○廣瀬委員：江戸時代には、鷹狩をするため、代官がいなかったか。

○事務局：御鷹場についての記載を入れる。

○近辻委員：明治になってから鷹場はなくなったから地図には載っていないのではないかと。

○事務局：地図上はそうだが、天神社をめぐる歴史としては必要な要素だと考える。

○近辻委員：蓮見家文書の中に、御鷹場に関係するお金を借りたことが書いてあるが資料に入れていない。

○事務局：可能であれば資料に追加してほしい。

○近辻委員：今回の報告書の内容は、どれくらいの量になるか。

○事務局：現状ではかなりの分量がある。文章を完結にまとめ、写真や図を多く入れたい。コンパクトでインパクトのあるストーリーにしたい。

○都築委員：鷹場碑が大泉第一小学校にあるのでそれも加えてもらいたい。

(3) 文化財の保存と管理について

○鈴木会長：事務局から説明をお願いします。

○事務局：（資料3に沿って説明）

社会環境の変化により文化財の管理者等の後継者不足など、文化財の保存が難しくなっている。今回、指定文化財の保存に関わる以下の案件が出てきたため報告させていただき、委員からご意見をいただきたい。

問題となる案件は、文化財の管理が不可能になったとの相談である。

- 鈴木会長：とりあえず文化財を市の倉庫等に緊急避難させ、いずれは望ましい形を整える。設置場所が問題。
- 都築委員：管理者や所有者が移転を希望したとしても、地域で大切にされている場合もある。ただ環境の悪い状態で置いておくのは難しい。練馬区では、区指定文化財の大山道標を所有地へ移したことがある。地域住民の応援もあったが大変だった。移転させるのであれば、文化財の近くにある公有地等に移すというのが現実的だと思う。
- 事務局：公有地でも、今後は売却する可能性のあるところもあるので、うまくいかない場合もある。屋外にある文化財は、風化の問題もあるのでより、保護するような措置が必要である。
- 都築委員：練馬区では指定文化財でなくても、価値があると判断したものはなるべく近くの公有地に移している。
- 事務局：もし今後移転するようなことがある場合、その移転が前例となるため、慎重に行いたい。市指定文化財でもあることから、環境も含めてなるべく良い形で保護していきたい。
- 近辻委員：以前、柳沢庚申塔を移したが再度青梅街道に戻したこともある。

3 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料4に沿って説明)
来週から下野谷遺跡の内容確認のための発掘調査をする。
3月29日に講演会を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の関係でイベントが中止になっているため、講演会も中止になる可能性がある。郷土資料室も3月2日から閉室する。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 事務局：郷土資料室の近くにあるけやき小3年生が下野谷遺跡で学んだことを作品にした展示会が小学校で開催予定で、手作りの招待状が届いた。現在の状況だと中止になるかもしれないが、報告する。

(2) 文化財事業実施報告

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料5・6に沿って説明)
 - ・埋蔵文化財
下野谷遺跡では本調査を1回、立会調査を1回、下宿遺跡では立会調査を1回実施した。
 - ・その他の文化財事業等
文化財保存事業2件、学校支援事業9件、その他9件を実施した。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 都築委員：埋蔵文化財調査一覧の3番について、田無駅南口開発には注意してほしい。記録保存調査を実施してほしい。
- 近辻委員：その他の文化財事業等にある多摩郷土誌フェアについて。今回の売り上げはいくらだったのか。

○事務局：約2万円だった。単価の高い市史が売れた。

4 その他

○近辻委員：多摩郷土誌フェアの報告。西東京市は文化財への力の入れ方が弱い。平成20年以降の新刊は2冊しかなく、しかもこの2冊はすでに元があったものをまとめた本であり、新刊として自慢できるものではない。清瀬市は最近力を入れている。西東京市は新刊を出していないが、自費出版している市民がいる。そういう書籍を販売はできなくとも展示してほしい。

○都築委員：立川市と清瀬市が市史編さんを行っている。

○廣瀬委員：都庁に都内各自治体のパンフレット等を配布しているスペースがある。西東京市のスペースにはまばらにしかパンフレットがなかったりする。せっかく無料で置けるスペースがあるのだから、有効に活用した方がいい。

○鈴木会長：他に全体を通して何かあるか。

○事務局：次回の会議は来年度5月頃を予定している。後日日程調整する。

5 閉会

○鈴木会長：以上をもって、令和元年度第4回会議を閉会する。